



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1463 2025年9月1日

ARIB からのお知らせ

第 216 回 ARIB 電波利用セミナー開催のお知らせ
「無線設備の認証における現状と課題」

近年、携帯電話基地局や無線 LAN アクセスポイントなどにおいて、無線機能のソフトウェア制御が進展しており、Open RAN や vRAN のような構成では、RU・DU・CU を含む無線設備全体が認証対象となっています。これにより、ハードウェアやソフトウェアの変更時に再認証が必要となるケースが多く、認証取得者の負担が増えています。また、技適マークの表示が電磁的方法で行われない機器では、ソフトウェア更新時に製品回収が必要となる場合もあり、流通後の対応が課題となっています。さらに、モジュール認証機器の普及により、製品組込後に技適マークが確認できない事例が発生し、技術基準不適合機器の流通規制の複雑化の要因となっています。これらの状況を踏まえ、認証制度の見直しや表示方法の改善、流通段階の規制の在り方の検討が求められているところです。

そこで、今回の ARIB 電波利用セミナーでは、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課電波利用環境専門官の松宮志麻様をお迎えして、無線局の免許手続きと技術基準適合証明等制度をはじめ、無線設備の認証を取り巻く状況の変化、無線設備の認証に関する重要課題について、総務省において開催している電波有効利用委員会 無線設備の認証の在り方検討作業班における議論を踏まえ、今後の政策の在り方の検討等についてご講演いただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

- 1 日 時：2025年9月29日（月）16時から17時まで
- 2 場所・形態：オンラインセミナー（Zoom ウェビナー使用）
- 3 題 名：「無線設備の認証における現状と課題」（仮）
- 4 講 師：総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課
電波利用環境専門官 松宮 志麻 様
- 5 参 加 者：180名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
ARIB正会員、賛助会員対象
- 6 申 込 先：当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。
(<https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 7 参 加 費：無料
- 8 問 合 せ 先：ARIB電波利用セミナー事務局 熊谷
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar@arib.or.jp

令和7年度「受信環境クリーン月間」について

受信環境クリーン中央協議会（会長：寺崎 明（一般財団法人情報通信振興会理事長））では、10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、全国11ブロックの地方受信環境クリーン協議会と協力して、テレビ・ラジオをより良好に視聴できるようにするため、各地で放送電波受信障害防止に向けた集中的活動を昭和30(1955)年以来、毎年実施しています。

本月間中は、建造物障害対策・家庭用テレビ受信ブースター（増幅器）障害対策・電気雑音障害対策・無線局障害対策を柱に、関係団体等の協力を得て、セミナー・講習会の開催、相談所の開設及び地方公共団体や建築主への働きかけ等を実施するとともに、日本放送協会、民間放送会社各社の協力のもとに広報番組を放送するほか、専門紙等への記事掲載、駅等のデジタルサイネージ、ポスターの掲示、リーフレットの配布等幅広い周知・広報活動を行うこととしています。

また、本月間活動の一環として、広く放送電波受信障害防止に関する知識の普及を図るため、総務省、文部科学省、日本放送協会及び一般社団法人日本民間放送連盟の後援のもとに、全国の中学生を対象とした「第58回受信環境クリーン図案コンクール」を受信環境クリーン中央協議会及び各地方受信環境クリーン協議会の共催により実施し、未来を担う青少年への理解促進にも取り組んでいます。

コンクール入賞作品は、月間中、デジタルサイネージによる広告のほか、郵政博物館において展示会を開催いたします。

（連絡先）受信環境クリーン中央協議会事務局

03-3940-3981

URL: <https://www.clean-kyou.com/>

（一般財団法人情報通信振興会内）

ARIBの動き

SET EXPO 2025概要報告

ブラジルテレビ放送技術協会（SET）が主催する中南米最大級の放送機器展「SET EXPO 2025」が8月18日から21日までブラジル・サンパウロ市で開催されました。

（ARIB事務局からは瀧口担当部長が参加）

1. 開催期間

カンファレンス : 2025年8月18日(月)～21日(木) (4日間) 9時～18時

展示会 : 2025年8月19日(火)～21日(木) (3日間) 10時～20時

(最終日は18時まで)

2. 開催場所

ブラジル サンパウロ市アンヘンビ地区コンベンションセンター (Distrito Anhembi)

3. 開会式の概要

開会式は、8月19日9時から開始されました。ブラジル国歌斉唱、SET会長のパウロ・ヘンリケ氏による開会挨拶、総務省総務審議官の今川拓郎氏による日本とブラジルとの友好関係の深化についての祝辞がありました。また、ブラジル主要放送局のCEOらによるパネルディスカッションが開かれ、メディアの将来、AIの導入、放送と通信の融合、視聴者との接点強化についての意見が交わされました。

最後にフレデリコ・シケイラ通信大臣が登壇し、当初SET EXPO開催期間に予定されていた次世代地上デジタルテレビジョン放送DTV+ (TV3.0)に関する法令署名式が8月27日に延期されたことに触れつつ、DTV+導入に向けた政府の前向きな姿勢をアピールしました。



SET ヘンリケ氏



総務省 今川氏



通信大臣 シケイラ氏

4. カンファレンスの概要

DTV+、放送技術、配信、ビジネス（広告）、AI活用、セキュリティ、規制の動向等について講演や議論が行われ、いずれの会場でもポルトガル語から英語への自動翻訳（キャプション表示）がありました。

最終日の基調講演で、日本からNHK放送技術研究所（技研）研究企画部部長の村山研一氏により“Designing the Future of Media”というタイトルで、ラジオ放送開始から100周年を振り返りながら、技研が目指す放送メディアの未来ビジョン“Future Vision 2030-2040”について紹介し、視聴環境・制作環境の未来、多様な視聴デバイスと体験への対応、及びメディアの信頼性構築についての発表を行いました。



NHK 村山氏による講演の様子

5. 日本パビリオンの概要

総務省が設営した日本パビリオンにおいて、ARIB/DiBEGのほか下記の6社が出展し、日本のデジタル放送に関連する技術をアピールしました。

- ・ ARIB/DiBEG：活動内容および次世代地上放送ISDB-T3、高度化STL/TTLの紹介
- ・ NHK： Future Vision 2030-2040、技研公開2025をビデオで紹介

- ・ NEC : VVCリアルタイム圧縮のデモ、次世代TV放送技術の紹介
- ・ 国際電気 : ISDB-T放送のバックアップ機材の紹介
- ・ JTEC (一般財団法人海外通信・放送コンサルティング協力) : 通信・放送連携による防災ICTデモ
- ・ ソニーセミコンダクタソリューションズ : TV3.0対応復調技術の開発
- ・ オリエンタルコンサルタンツグローバル : 次世代メディアプラットフォームでのボーダレスなコンテンツ配信

特にソニーセミコンダクタソリューションズの TV3.0 復調チップの開発について、同社の FPGA によるプロトタイプを Seja Digital 社のブースでデモしていたこともあり、関心を持った見学者が多数来訪していました。



日本パビリオンの様子

6. DTV+送信所の見学

DTV+の試験放送は 4 月 29 日からリオデジャネイロで 300MHz 帯を使用して開始されています。サンパウロでも 8 月 18 日から CH7 (1.5kW)、CH8 (2kW) で試験放送が始まり、SET EXPO 2025 でも複数のブースでデモが行われました。

試験放送では 4K/HDR、MPEG-H オーディオ、MIMO、LDM、TX-ID 等の実証が予定されており、今回 EXPO 終了後に送信所 (Record 社 : パウリストア通り、SBT 社 : スーマレー地区) の見学を行いました。見学した施設では、放送局のマスター機能はクラウド上に構築され、送信所への信号はクラウドから IP 回線で送られており、送信所の設備としてはシンプルな構成となっていました。DTV+は、水平偏波と垂直偏波を利用した 2×2 の MIMO で送受信するため、水平偏波用と垂直偏波用の送信機および偏波 MIMO 用送信アンテナが必要となり、対応した設備が設置されていました。



Record 社送信所



Record 社送信設備



SBT 社送信所



SBT 社送信アンテナ

ARIB 内会合（9月1日～9月5日）予定

- 9月3日（水）：デジタル放送システム開発部会 地上放送高度化方式検討 TG
Web 会議併用
- 9月4日（木）：スタジオ設備開発部会
Web 会議併用

国際会合（9月1日～9月5日）予定

- 9月2日（火）～3日（水）：CJK IMT WG #74（札幌）
Web 会議併用

総務省などからのお知らせ

陸上無線通信委員会報告（案）に対する意見募集 — 「空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」のうち 「920MHz 帯空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの屋外利用等に係る 技術的条件」—

【令和7年8月22日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会（主査：三次 仁 慶應義塾大学環境情報学部 教授）は、諮問第 2043 号「空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」のうち「920MHz 帯空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの屋外利用等に係る技術的条件」について検討を行い、今般とりまとめられた陸上無線通信委員会報告（案）について、令和7年8月23日（土）から令和7年9月22日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和7年8月22日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

陸上無線通信委員会報告（案）に対する意見募集 — 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち 「800MHz 帯広帯域小電力無線システムに係る技術的条件」及び「業務用陸 上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち「3次元測位システムの 技術的条件」—

【令和7年8月22日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会（主査：三次 仁 慶應義塾大学環境情報学部 教授）は、諮問第 2009 号「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち、「800MHz 帯広帯域小電力無線システムに係る技術的条件」及び諮問第 2033 号

「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち、「3次元測位システムの技術的条件」について検討を行い、今般とりまとめられた陸上無線通信委員会報告(案)について、令和7年8月23日(土)から令和7年9月22日(月)までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和7年8月22日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of **R**adio **I**ndustries and **B**usinesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013

東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp